

極低出生体重児におけるてんかん発症予後予測因子の検討

1. 研究の対象

2012年1月から2018年12月の間に山梨県立中央病院、長野県立こども病院で出生した極低出生体重児を対象とします。

2. 研究目的・方法

研究実施期間：研究機関の長の許可日～2025年3月31日

山梨県および長野県で出生した極低出生体重児におけるてんかんの発症率と、てんかん発症の予後予測因子を明らかにすることを目的としています。2012年1月から2018年12月に山梨県立中央病院および長野県立こども病院で出生した極低出生体重児を対象とし、診療録から抽出した臨床情報とてんかん発症との関連を後方視的に検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：診療情報データ、検査データ

4. 外部への試料・情報の提供

他施設へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

【研究代表者】

山梨大学医学部 小児科学講座 加賀 佳美

【研究協力機関および研究協力者】

山梨県立中央病院 新生児内科 内藤 敦
長野県立こども病院 新生児科 廣間 武彦
長野県立こども病院 神経小児科 稲葉 雄二

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

研究責任者（当院）：

山梨県立中央病院 新生児内科 内藤 敦

研究代表者：

山梨大学医学部 小児科学講座 加賀 佳美